

報道関係者各位
プレスリリース

2026年4月3日
株式会社建築資料研究社／日建学院

域学連携のモデルケースとして注目の「加子母木匠塾」。
世界的にも稀有な、30年以上続く学生による木造建築の実践。
その活動の全貌を書籍化、3月25日刊行！

建築・住宅・インテリア・資格等の専門書を発行する株式会社建築資料研究社（所在地：東京都豊島区、代表取締役社長：馬場栄一）は、30年以上にわたり学生主体で木造建築に取り組んできた「加子母木匠塾」の全貌をまとめた書籍『加子母木匠塾——30年続く木と建築の学び場』（「加子母木匠塾」編集委員会・編著）を刊行し、2026年3月25日に全国書店等で発売されました。



▼加子母木匠塾——30年続く木と建築の学び場
<https://www.kskpub.com/book/b10159048.html>

【概要】

- 編著：「加子母木匠塾」編集委員会
- 発行日：2026年3月25日
- 仕様：A5判、本文376頁
- 定価：税込3,630円（本体価格3,300円）
- コード：ISBN978-4-86834-017-1



<詳しくはこちら>

【刊行趣旨】

1995年から毎年開催されている加子母木匠塾（かしも・もくしょうじゅく）。主に建築を学ぶ大学生が、加子母（かしも）をフィールドとして木造建築を実践的に学ぶ、合宿形式のワークショップです。毎夏、100～300人の学生たちが、全国からこの岐阜の小さな村に集まり、何日も泊まり込んで小さな木造建築をつくりあげます。そんな活動がもう30年以上も続いており、これまでの参加学生は延べ5千人を超えます。年を追うごとに参加者数が増え、ますます多彩な活動が繰り広げられてきていることは、驚嘆に値します。なぜ加子母木匠塾は、これほど長い年月にわたり、活気あふれる活動が続いているのでしょうか。本書はその不思議を、〈木〉〈学〉〈域〉〈人〉というキーワードを切り口にして、遺された膨大な資料や、数多くの関係者から引き出した証言などをもとに、解き明かしていきます。人が育つということ、地域が元気になるということ、それはいったいどういうことなのか。——きっと本書から、その本質に迫るヒントを得ることができるでしょう。

【目次】

はじめての加子母木匠塾／藤巻佐有梨・政木哲也

加子母木匠塾用語集
はじめに／柳沢 究

第1章 序：加子母木匠塾とはなにか

木匠塾よ、永遠なれ！／布野修司
木匠塾を育んだ加子母／柳沢 究
木匠塾の一年／松井茉優
加子母木匠塾の沿革 開校から2025年まで／政木哲也
木を学び山を学ぶ学生たちは次世代の山守／内木哲朗
加子母の時空間と集う人びと／佐野智哉
木匠塾がもたらした成果／太田邦夫

第2章 木：木造建築の入口となる木匠塾

制作物16選
木匠塾制作物総覧（1997-2024）
[COLUMN] おじゃった庵とさくら荘／宮本誠弘
加子母最後の杉人と木匠塾／氏家麻里子
加子母の製材を知る マルワイ製材所見学記／政木哲也
[COLUMN] 大工から見た木匠塾
変遷する木造の今と実践 インタビュー 秋吉浩気・稲山正弘・安井 昇／藤村真喜
木匠塾と社会問題 佐渡木匠塾を研究室の活動として続けている理由／蟹澤宏剛
山と川のあいだ 風土と制作・写真で見る加子母木匠塾

第3章 学：学びの場としての木匠塾

木匠塾の初心と展開／藤澤好一
木匠塾で学生は何を学んだか①渡合期／池尻隆史
木匠塾で学生は何を学んだか②やかた期／飯田勇介
木匠塾で学生は何を学んだか③松屋期／田村賢太
[座談会] 学びの場としての木匠塾
三つの木匠塾、そして木造建築教育／三澤文子
木のものづくりを通じた学生の学びと物語／戸田都生男
木匠塾育ちの建築家に期待／横内敏人
つくり続ける人生への誘い／河野 直
コロナ禍を生き延びた加子母木匠塾／松井茉優
[COLUMN] アフターコロナの木匠塾／鷲山大樹

第4章 域：地域にとっての木匠塾

[INTERVIEW] 木匠塾により加子母は変わったか 木匠塾から域学連携へ／青山節児
加子母木匠塾三十周年記念誌発刊に寄せて／小栗仁志
[INTERVIEW] 木匠塾生に日本中で大活躍して欲しい／中島紀子
[COLUMN] 東日本大震災と木匠塾 近江楽座「木興プロジェクト」との連携／布野修司
[COLUMN] 加子母の人が語る木匠塾
「施主制度」の成立／安藤正雄
学生と地域がはじめて本音をぶつけ合った学校林プロジェクト
／具志堅興輝・善田奈緒・馬場 航・政木哲也
加子母木匠塾の運営体制と会計／柳沢 究
[COLUMN] 木匠塾生のお財布事情／茨田一平
[座談会] 加子母はなぜ木匠塾を続けるのか 運営担当職員から見た木匠塾の30年
木匠塾生が加子母に移住してみた／原田佳苗
冬木匠 一年を通じた活動の広がり／氏家麻里子
[COLUMN] 年越し加子母／田淵伸太郎

第5章 人：私にとっての木匠塾

自分の手で何かをつくり上げることの楽しさ／森田一弥
学生と担当指導者、両方の立場から見た木匠塾／平佐康裕
木匠塾で識った木造建築の自由さ／魚谷繁礼

「加子母」から「佐渡」へ／平原 匡
丸鉦から BIM まで／田澤周平

森とまち、人をつなげて／吉村麻美

山間地域で学ぶ意味を見つめて／中園涼子

友と一緒に仕事をする未来／家永尚明

実践的な研究教育活動で木匠塾の経験を活かす／土井脩史

加子母との縁がつないだ活動の広がり／寺澤 剛

おかえり、と声をかけてくれた加子母／寺内 央

被災地でのミューチュアル・エイドの試み 滋賀県立大学木興プロジェクト／井上悠紀

つたないフランス語よりも雄弁に／山本将太

大工さんになりたかった森ガール／松井茉優

明治座発 アメリカ行 デザインビルドの旅／山本明斗

加子母のアイドルになる！／鈴鹿裕子

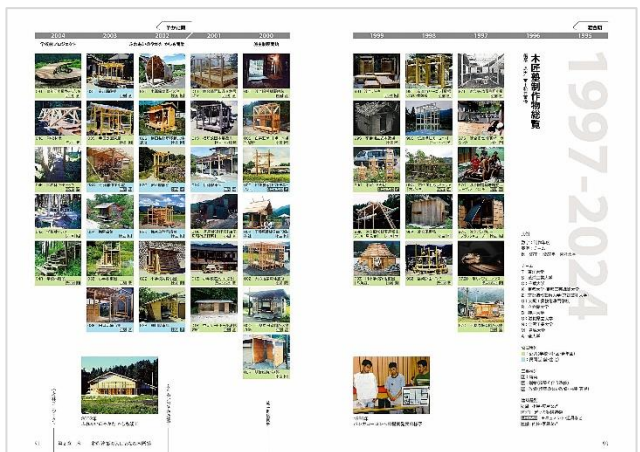
[アンケート] 加子母木匠塾 OBOG にきいてみた！

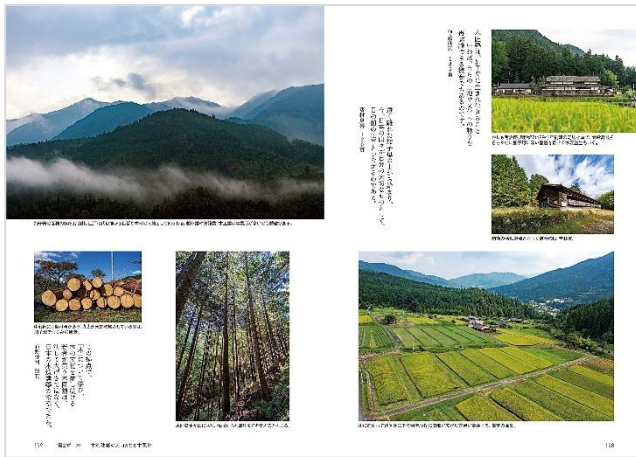
資料編

運営体制／参加学生の所属校／参加チームの概要／工務店・製材所の概要／
資料・記録、受賞一覧

編集委員プロフィール／あとがき

[巻末綴込み] 制作物 MAP／木匠塾年表 (1991-2024)





【編著者プロフィール】

「加子母木匠塾」編集委員会

代表：柳沢 究（やなぎさわ・きわむ）

京都大学大学院工学研究科・准教授。1975年神奈川県生まれ。究建築研究室代表、名城大学准教授などを経て、2017年より現職。博士（工学）。一級建築士。住宅・リノベーションの設計のほか、アジアの伝統的居住空間の調査、住経験の研究等に取り組む。著書に『住居計画入門：住まいをめぐる文化・歴史・空間』『住経験インタビューのすすめ』など。

▼株式会社建築資料研究社 出版部 公式サイト

<https://www.kskpub.com/>

▼日建学院 公式サイト

<https://www.ksknet.co.jp/nikken/index.aspx>

【会社概要】

商号：株式会社 建築資料研究社

代表者：代表取締役社長 馬場 栄一

所在地：〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-50-1

創立：1969年（昭和44年）8月

事業内容：建築・住宅・インテリア・資格等の専門誌を発行、建築関連資格取得のための学校運営 等

URL：<https://www.ksknet.co.jp/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 建築資料研究社／日建学院 コールセンター

フリーコール 0120-243-229

受付時間 10:00～17:00（年末年始 12/28～1/5、土日祝日除く）

E-mail：nikken@to.ksknet.co.jp URL：<https://www.ksknet.co.jp/nikken/>